**2020年度 日本気管食道科学会における研究課題の公募について**

日本気管食道科学会　評議員　各位

理事長　塩谷　彰浩

臨床研究委員会委員長　藤　也寸志

日本気管食道科学会におきましては、2017年度より『臨床研究委員会』の活動を開始しました。頭頚部・気道・食道領域の複数学会の複合体としてのメリットを最大限に活かすためには、各領域に共通するテーマにおいて共同の臨床研究を計画実行することが必要です。そのために、本学会に関わる疾患の病態・診断・治療などに関して、早急に解決するべき問題点や課題についてのプロジェクト研究を推進していきます。

具体的には、**年に1回、本学会評議員を対象として研究課題を以下の要領にて公募**します。プロジェクト研究は、日本気管食道科学会理事会の承認を経て行われ（**資料１：研究申請・審査・発表の流れ**参照）、成果は本学会学術講演会などで発表、さらに論文化されてエビデンスとして発信されます。

**■研究種目**

・日本気管食道科学会が関わる諸疾患に関する研究

**（注意）**

**・**審査対象は.**全国多施設参加型の研究で、さらに原則2年以内に終了できる研究**とします。

・類似の研究が申請された場合、臨床研究委員会にて調整を行うことがあります。

**■応募方法・〆切**

**研究申請書・計画書（資料２）**および**ホームページ広報用データ（資料３）**を作成

（申請書・計画書は押印の上、PDFを作成してください）

→　**日本気管食道科学会事務局****jbes@kishoku.jp****へメールしてください。**

**締切：2020年2月28日（金）の正午**

＊応募期間を過ぎて提出された申請書は、いかなる理由であっても受領できませんので、

あらかじめ余裕を持って提出してください。

**■ 研究経費**

・研究にかかる経費は、原則申請者の負担とします（調査のための郵送費などについては事務局で負担します）。

**■注意事項**

**＜日本気管食道科学会での本件に関する取り決め＞**は以下の通りですのでご参照下さい。

1. 申請資格は評議員とする。
2. 審査対象は、全国多施設参加型の研究で、さらに原則2年以内に終了できる研究とする。
3. 臨床研究委員会（必要に応じて倫理委員会）での審査を行う。

（正式な倫理審査は研究代表者施設 → 各参加施設の倫理委員会・IRBによる）

1. 期限は2年とする。延長は臨床研究委員会での審査の上、1年までとする。
2. 研究成果は、気管食道科学会学術講演会で報告を義務づける。
3. 投稿雑誌は規定しない。
4. Authorshipは理事会での承認時に決定する（気管食道科学会の参加形態に応じて）。
5. 研究成果をホームページで広報していく。

＜参考＞現在までに採用された課題は以下の通りです。

【2017年度】

1. **非腫瘍性の気管食道瘻の発生頻度や治療法に関する全国実態調査**

竹内　裕也　先生　（浜松医科大学第二外科）

1. **咽頭・喉頭・気管狭窄に関する全国疫学調査**

大森　孝一　先生　（京都大学耳鼻咽喉科）

1. **降下性壊死性縦隔炎の発生と治療法および予後に関する観察研究**

杉尾　賢二　先生　　（大分大学呼吸器・乳腺外科）

【2018年度】

1. **頸部食道癌に関する全国実態調査**

朝蔭　孝宏 先生　　（東京医科歯科大学頭頸部外科）

【2019年度】

1. **一側性声帯麻痺の治療法に関する全国疫学調査**

折舘　伸彦 先生（横浜市立大学耳鼻咽喉科）

1. **喉頭乳頭腫に関する全国疫学調査**

室野　重之 先生（福島県立医科大学耳鼻咽喉科）

1. **上縦隔気管切開孔造設手術（AMT）の現状に関する後方視的調査**

益田　宗幸 先生（九州がんセンター頭頸科）

お問い合わせは、日本気管食道科学会事務局までお願いします。

特定非営利活動法人日本気管食道科学会

事務局

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-11　陽臨堂ビル2F

E-mail： jbes@kishoku.jp